

## <<CDD 型単結晶 X 線回折装置の遠隔操作について>>

CDD 型単結晶 X 線回折装置は 12 月から遠隔操作ができるようになりました。

遠隔操作には『team viewer』というソフトウェアを使用します。

<https://www.teamviewer.com/ja/>

team viewer を使用するには、上記 URL から無料ダウンロードでソフトウェアを取得し、パソコンにインストールしてください。

※team viewer を使用すると、単結晶 X 線回折装置制御パソコンのデスクトップが、自分のパソコン上に現れますので、装置室から離れた場所（自分の研究室や自宅等）で

- ・単結晶構造解析ソフトウェア CrysAlisPro のオンラインモードによる結晶の測定・データ処理
  - ・CrysAlisPro のオフラインモードによるデータ処理、Olex2 を用いた結晶構造解析計算
- を実行することができます。

※X 線回折装置制御パソコンは、設定されたパートナーID の PC からのみアクセスできるようにしてあります。

まず、装置管理者（安井 myasui@uec.ac.jp）へ、接続したい PC のパートナーID、設置場所、使用者名を連絡してください。パートナーID を設定したのち、遠隔操作に必要な装置制御パソコンの**パートナーID**、**パスワード**を教えます。

## <<遠隔操作のルールについて>>

(1) **遠隔操作をする時間帯は必ず設備予約システムで設備予約をしてください。**

(2) 遠隔操作でサンプル測定を行う場合、自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に、設備の電源 ON、X 線の立ち上げ、試料のセットとセンタリング、最後の電源 OFF 等を行ってもらいようにしてください（上記下線のサポートを行う人を、“単結晶 X 線装置スーパーユーザ”（以下、スーパーユーザーと省略）と称します）。

※他研究室のユーザのためにスーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。

※自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生にスーパーユーザの仕事を依頼するのは、遠隔操作を行うユーザ自身が行ってください。

※スーパーユーザの仕事に依頼した場合は myasui@uec.ac.jp まで連絡をお願いします。

(3) 遠隔操作で構造解析ソフトのみを使用することはあまりないと思いますが、遠隔操作で解析ソフトを使用する場合も**必ず設備予約システムで設備予約**をしてください。なお、オフラインモードでの CrysAlisPro と構造解析ソフト（Olex2）は研究室等の PC にもインストールができますので、測定したサンプルのデータフォルダを丸ごと研究室の PC へコピーすれば、遠隔操作を使用することなくデータ処理や構造解析が行えます（ただし自動構造解析 AutoChem はライセンスの関係で、制御 PC にのみインストールされています）。ソフトウェアのインストールについては、別途、安井までお問い合わせください。